

優秀賞

わたしがうまれたこと

大阪府 賢明学院小学校一年 山根 葵緒

わたしは、七がつで七さいになりました。おかあさんに、わたしがうまれたことをおしえてといたら、なんまいかのしゃしんと二まいのDVDをひきだしからもってきてくれました。

しゃしんは、ペラペラのつるつるしたかみでした。しろとくろで、なんだかまるいかたちやハートみたいなかたち、それからだんだんひとのかたちがうつっていました。おかあさんが、

「これ、おなかのなかのきおちゃんよ。」

といました。なんでおなかのなかのわたしがうつるのかとてもふしぎでした。

そして、一まいめのDVDには、わたしがおなかのなかからでてくるときのしんぞうのおとでした。だんだんドキドキのおとがはやくなって、わたしはきいていてびっくりしたけれど、

「オギャー、オギャー。」

とないたときに、わたしはなんだかなみだがでてきで、うれしいきもちになりました。

もう一まいのDVDには、おふろにはいっていたり、ミルクをのませてくれたりしてくれていて、そのあとにんだかわかい、おとうさんとおかあさんがうつっていました。

わたしのなまえのはなしをしてくれました。このDVDをみて、わたしがうまれたときのことがとてもよくわかりました。

そして、わたしのこころのなかがとても、あたたかいきもちになりました。おかあさんに、「ありがとう」のきもちがいっぱいになりました。

おかあさんとおとうさんは、いつもどんなときもわたしをおうえんしてくれます。たとえば、わたしがスイミングでおよげるようになったとき、そしてじてんしゃにのれるようになったときはとってもか

んどうしてくれました。そんなときは、「わたしも
がんばるぞ」とおもってゆうきがわきます。そして、
いろいろなことにちようせんしようとおもいます。
わたしがうまれてきて、これからたくさんみん
なをかんだうさせたいです。

